

さいたま市インフルエンザ週報(速報)

2022-2023年シーズン 第7週(2月13日~2月19日)

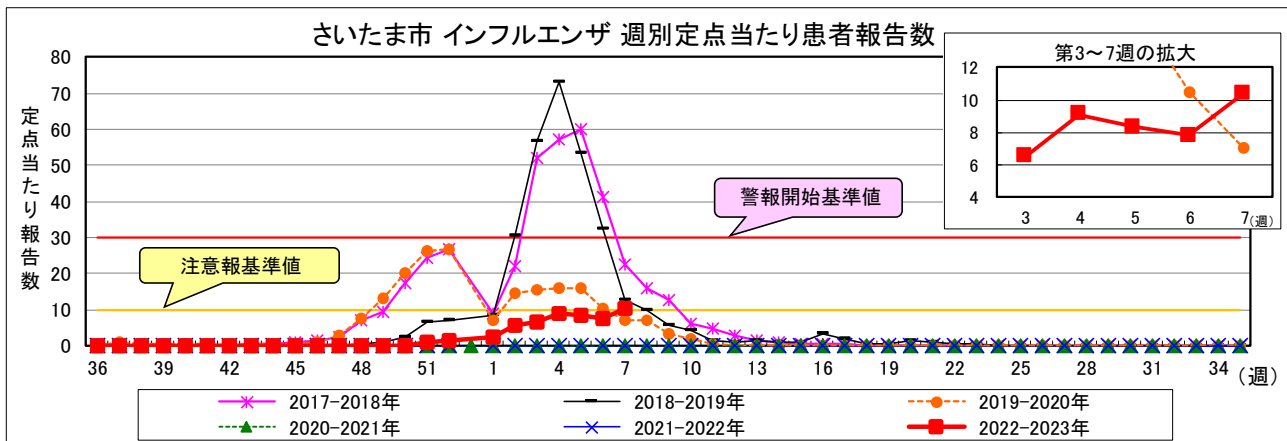
※さいたま市では小児科・内科診療を行っている41か所の定点医療機関の協力によりインフルエンザの流行状況を把握しています。また、基幹定点医療機関(1か所)の協力によりインフルエンザによる入院患者の発生状況を把握しています。

市内のインフルエンザ患者報告状況

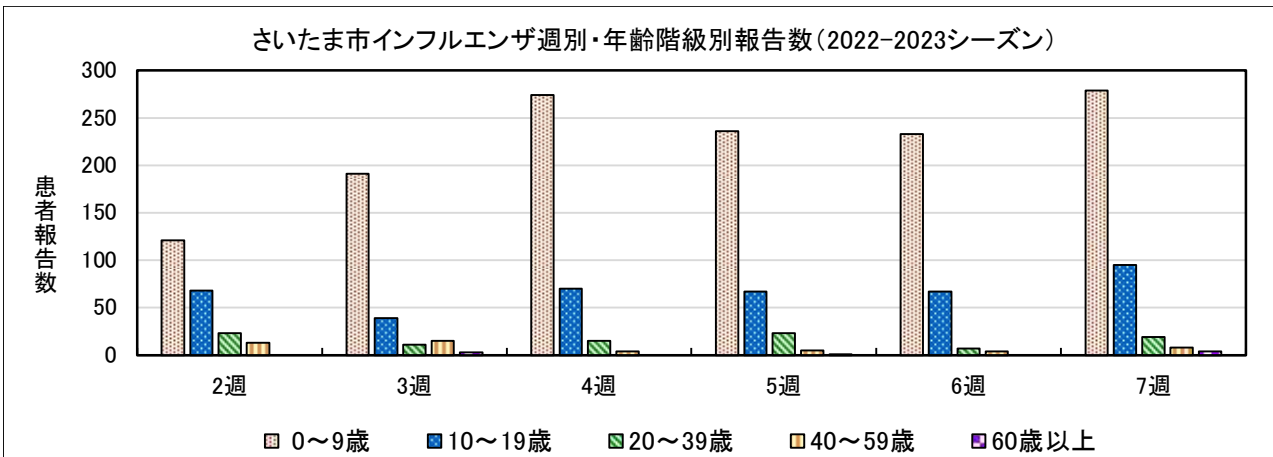
注意報レベルになりました！

定点医療機関からの患者報告数は405人、定点当たり報告数は10.38人と、先週の7.78人から増加し定点当たり10人を超え、注意報レベルとなりました。また、基幹定点医療機関から入院患者1人の報告がありました。

引き続きインフルエンザの予防及び感染拡大防止のため、手洗いや咳エチケットを励行し、体調の悪いときは無理をせず早めに休養しましょう。



※インフルエンザは通常、秋から翌年の春にかけて流行するため、9月から翌年の8月までを1シーズンとして、グラフを作成しています。



なお全国では、第6週(2月6日~2月12日)の定点当たり報告数が12.91人と注意報レベルとなっており、前週の12.66人よりも引き続き増加しています。都道府県別では福井県(45.03)、石川県(40.48)、沖縄県(30.25)、大阪府(28.12)、京都府(26.30)の順で報告数が多い状況でした。

★令和5年2月21日13時現在の速報です。

さいたま市健康科学研究センター (さいたま市感染症情報センター) TEL:048-840-2250 FAX:048-840-2267